

## 令和1・2年度 土木学会第1回複合構造委員会 議事録

1. 日 時：令和元年7月4日（木）14:00～17:00

2. 場 所：土木学会講堂

3. 出席者：中村(俊)顧問，三ツ木顧問，下村委員長，松本(高)副委員長，大久保幹事長，安東委員，石川委員，大西委員，小森委員，鈴木委員，高嶋委員，滝本委員，谷口委員，趙委員，中島委員，西崎委員，橋本(努)委員，古市委員，宮下委員，齋藤(隆)幹事，塩畑幹事，仁平幹事，牧幹事，溝江幹事

(敬称略，計24名)

4. 配付資料：

- 委1-0 令和1・2年度 第1回複合構造委員会 議事次第案
- 委1-1 令和1・2年度 複合構造委員会 委員名簿
- 委1-2 平成29・30年度 第4回複合構造委員会 議事録（案）
- 委1-3 令和1・2年度 複合構造委員会体制ほか
- 委1-4 常設小委員会の委員の変更・追加
- 委1-5-1 メール審議結果「H101の委員追加」
- 委1-5-2 メール審議結果「H152の委員追加」
- 委1-6 平成30年度委員会決算と令和元年度委員会予算（案）
- 委1-7-1 平成29・30年度 第12回複合構造委員会幹事会 議事録
- 委1-7-2 令和1・2年度 第1回複合構造委員会幹事会 議事録（案）
- 委1-8 平成31年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果
- 委1-9 平成30年度委員会活動度評価結果
- 委1-10 示方書連絡会議への協力依頼
- 委1-11 令和元年度年次学術講演会（共通セッション）
- 委1-12 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム
- 委1-13 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 委1-14 複合構造の継続教育
- 委1-15 出版関連報告
- 委1-16 複合構造委員会小委員会一覧
- 委1-17 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委1-18 H107 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会
- 委1-19 H151 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会
- 委1-20 H152 プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会
- 委1-21 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
- 委1-22 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 委1-23 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 委1-24 H217 コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

- 委1-25 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会  
委1-26 H219 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会  
委1-27 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究～グレーインフラに携わる技術者の立場から～報告書 (※当日回覧資料)

## 5. 議事内容：

### (1) 委員長挨拶

下村委員長より挨拶があった。

### (2) 委員自己紹介

各委員から自己紹介があった。

### (3) 第4回委員会（平成29・30年度）議事録案確認

大久保幹事長より、平成31年1月22日に行われた第4回委員会（平成29・30年度）議事録（案）の確認が行われ、承認された。

### (4) 令和1・2年度複合構造委員会体制ほか

大久保幹事長より、今期の委員会、幹事会、各小委員会（常任6小委員会、第1種4小委員会、第2種6小委員会）の体制について説明があった。

H107委員会は3月で活動を終了しているが、本日の資料には掲載するとした。

### (5) 常設小委員会の委員の変更・追加

大久保幹事長より、資料に沿って、常設小委員会および第1種小委員会の新任・変更に関する案が説明された。これを承認した。

## 【審議事項】

### (6) メール審議結果の確認

溝江幹事（前幹事長）より、資料に沿って2件のメール審議結果の報告があった。

### (7) 平成30年度委員会決算と令和元年度委員会予算（案）

大久保幹事長より、資料に沿って説明があった。

平成30年度予算執行状況については約2万円残ることとなった。

令和元年度予算案については、調査研究費は昨年度の活動状況に応じて配分され76.6万円で決定済み、拡充支援金は未決定であるが、合計は例年通り120～140万円程度になると予想される。なお、各小委員会の配分は資料の通りである。

## 【報告事項】

### (8) 幹事会報告

大久保幹事長より資料に沿って、平成29・30年度第12回幹事会、令和1・2年度第1回幹事会について議事録を紹介した。

中村(俊)顧問から、第12回幹事会議事録の7. 継続教育関連報告に記載されているIABSE Young Engineers Colloquiumについて補足があり、大久保幹事長経由で各委員に案内資料が配られることとなった。また、同コロキウムと複合構造委員会とのコラボレーションについて、2,3年後の実現を目指して検討して欲しいとの提案があった。

(9) 平成30年度重点研究課題（研究助成金）の選考結果

大久保幹事長より、資料に沿って説明があった。

コンクリート委員会から申請されたテーマについては、複合構造委員会からも委員を出すことになっており、鋼構造委員会も含めた3委員会で協働して活動する予定である。

(質問) 複合構造委員会としては、今回は応募していないということか？

(回答) その通りである。

(10) 平成30年度委員会活動度評価結果

大久保幹事長より、資料に沿って説明があった。また、下村委員長より、拡充支援金は上限金額がなく、今後の皆様の活動に期待したいと補足説明があった。

(11) 示方書連絡会議への協力について

大久保幹事長より、資料に沿って説明があった。

複合構造委員会から、中島委員と北根幹事が示方書共通化WGに、渡辺委員と牧幹事が設計の基本WGに参加する予定である。

(12) 令和元年度全国大会（共通セッション）

齋藤(隆)幹事より、資料に沿って共通セッションについての説明があった。

今年の複合構造セッション(CS6部門)の投稿数は例年に比べて少なく23件で、9/5(3日目)の3セッションに振り分けられている。

(13) 第13回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム

仁平幹事より、資料に沿って説明があった。

今回は、日程が新天皇即位の大嘗祭と重なっているという懸念事項もあるが、概要締切の時点で例年通りの投稿数が集まっている。特別講演3件と現場見学会を予定しており、詳細は資料に記載の通りである。

(質問) 概要締切時の投稿数72件は建築も含めてか？土木・建築の比率は？

(回答) 土木が7割程度と思われる。この比率に応じて座長も振り分ける予定である。

(質問) 見学会の参加費用は決まっているか？

(回答) 1000～2000円をバス代として徴収予定である。

(14) 土木学会論文集A1 特集号：複合構造

牧幹事より、資料に沿って説明があった。

なお、P38に記載されているメンバーについて、栗橋先生の所属は金沢大学に訂正する。

次号に向けて、土木学会全体の動きに合わせて、論文集特集号に対して“討議受付”、“国際

化”の2点について検討を行う予定である。特集号が再編される可能性もある。

(質問) 国際化について、和文であってもSCIへの参加条件を満たすことは可能か？

(回答) 和文は参考文献を英語併記とすることでSCIの前段階であるESCIに参加することとなり、SCIへの参加検討は英文論文集が対象となっている。

#### (15) 複合構造の継続教育

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

(質問) 複合構造セミナーの録画をして、eラーニングに使用できないか？

(回答) 講師の承諾が必要であり、今年度のセミナーについては難しいと判断している。

(質問) 書籍英訳化について、HP公開を積極的に宣伝・広報活動することはできないか？

(意見) 広報用に英語版のリーフレットのようなものを作ってはどうか？

(意見) 海外の他団体の英語版ニュースレターで各国の活動状況としてリンク先を紹介するために、ダウンロードページが日本語ページであるという点を見直してはどうか？

(回答) 日本語ページであるが英語併記しているので、これで様子をみたい。皆様からの意見については幹事会で議論・調整する。

#### (16) 出版関係報告

大久保幹事長より、資料に沿って説明があった。

原価回収部数に到達していない出版物については、販売促進にご協力いただきたい。

(質問) 複合構造シリーズ09は売り切れ中ではないのか？

(回答) 増刷について出版と調整中であると聞いている。

(質問) 2014制定の複合構造標準示方書にCDを付けた評判について何か把握しているか？

(回答) これまで比較していないが、それで大きく売上げが落ちたという話は聞いていない。(→2009年制定版の最終売上部数は846部、2014年制定版は現状で729～763部)

#### (17) 小委員会報告 (11 委員会)

##### (H101) 複合構造標準示方書小委員会

牧小委員会幹事より資料に沿って説明があった。

構成を変更するため1年発行を延期し、2020年版で発行することを目標としている。

(質問) 新たな章構成は決定したということか？

(回答) 決定はしていないが、前回の委員会で説明した方向性とした場合に、どのような記載となるかを検討中である。具体的な形となるのはこれからである。

##### (H107) グリーンインフラとクレーインフラの融合に関する研究小委員会

溝江小委員会幹事長より資料に沿って説明があり、HPで公開中の報告書が回覧された。

学会誌の7月号に土木学会への概略報告についての記事が掲載されている。今後、論文集A1特集号にも投稿する予定である。

##### (H151) 複合構造物の疲労照査法に関する調査研究小委員会

牧小委員会連絡幹事より、資料に沿って説明があった。

1年間活動期間を延長して調査研究を進めている。

##### (H152) プレハブ・プレキャスト工法有効利用に関する調査研究小委員会

松本(高)小委員会幹事より、資料に沿って説明があった。

(H214) 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

大西小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

最終段階に入っており報告書および講習会の調整を行っている。

(H215) 複合構造物におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

下村小委員会委員長より、資料に沿って説明があった。

これから2期の活動を開始する。

(H216) 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

仁平小委員会連絡幹事より資料に沿って説明があった。

(訂正) 活動時期の欄に記載の“平成32年6月まで”は“令和2年6月まで”に訂正する。

(H217) コンクリート充填鋼管部材の活用に関する調査研究小委員会

大久保幹事長より資料に沿って説明があった。

(H218) FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会

西崎小委員会委員長より資料に沿って説明があった。

少し遅くなるが講習会を来年2月に開催するとし、その後2期の活動に入りたい。

(質問) 2期の活動に入ることは既に承認済みか？

(回答) 現時点では希望であり、今後手続きを進める予定である。

(H219) 床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会

大久保小委員会幹事長より資料に沿って説明があった。

(18) 終了小委員会 (H107) の活動成果報告

西崎小委員会委員長より、土木学会への発表資料を元に小委員会の終了報告があった。

(質問) 既設のグレーをグリーン化する際にコスト的にはどこまで許されると思うか？

(回答) 効果を評価する視点が非常に多いため、一概にどこまでのコストが許されると言うのは難しく、どのように説明するかに関わっている。

(質問) なぜこのテーマを複合構造委員会で取り組もうと思ったのか？

(回答) グリーンとグレーの“複合”であり、両方の視点での検討がこれまであまりなされていなかったため提案を行った。

(質問) 土木学会への概要報告会でどのような質問・意見が出ていたか？

(回答) H27の第4次社会資本整備重点計画でグリーンインフラが推進されるという説明をしたことで、グレーの技術者はもっとみんなでグリーンを勉強するべきという意見が出たことに驚いた。報告時間が短く、その1点だけであった。

(19) 閉会挨拶

松本(高)副委員長より閉会の挨拶があった。

以上。

(文責 齋藤(隆))